

利用者減に歯止めを

県図書館 魅力向上へ課題探る

愛知県
議院

公明党愛知県議院(小島文幸^{幹事長}団長)はこのほど、名古屋市中区にある愛知県図書館を訪れ、利用状況や課題を調査した。

一行はまず図書館の概要について職員の説明を聞いた。それによると蔵書数は120万余りで、毎年30回程度の企画展示に加え、県内の市町村立図書館を經由

しての貸し出しも行っている。一方、入館者は年々減



県図書館で担当者^と意見を交わす愛知県議院(右側6人)

少しており、職員は、その理由として、図書館に大きな特徴がなく魅力に欠けることを挙げ「関連機関と連携したイベントの実施など新たなサービスを検討し、

利用者の減少に歯止めをかける」と語った。

次に一行は館内を見て回り、本の配置の工夫などについて意見を交わした。

小島団長は「子どもたちの豊かな感性を育む上で、県図書館の役割は大きい」と述べ、図書館の充実に取り組む意向を示した。